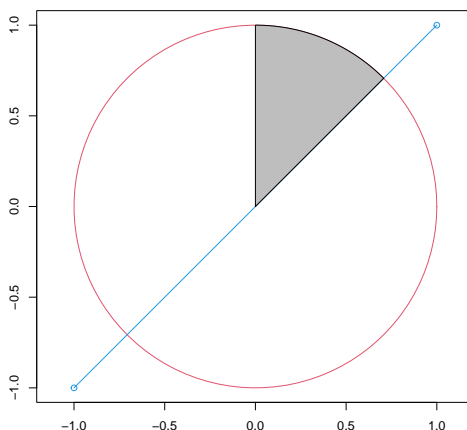


1. 次の積分値を求めよ。

(a)

$$\iint_D (x^2 - y^2) dx dy, \quad D = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 1, 0 \leq x \leq y\} \quad (1)$$

.....  
 $D \subset \mathbb{R}^2$  とする。領域  $D$  は次のような円の一部である。



$y$  を先に積分する場合、 $y$  の積分範囲は直線  $y = x$  上の点から円周上の点の区間となる。

$$\iint_D (x^2 - y^2) dx dy = \int_0^{1/\sqrt{2}} \int_x^{\sqrt{1-x^2}} (x^2 - y^2) dy dx \quad (2)$$

$x$  を先に積分する場合は積分を分けて考える必要がある。

極座標に変換する場合、 $x = r \cos \theta$ ,  $y = r \sin \theta$  と置く。それぞれの積分範囲は  $r : 0 \rightarrow 1$ ,  $\theta : \pi/4 \rightarrow \pi/2$  であり、ヤコビ行列式より  $dx dy = r dr d\theta$  である。

$$\iint_D (x^2 - y^2) dx dy = \int_0^1 \int_{\pi/4}^{\pi/2} (r^2 \cos^2 \theta - r^2 \sin^2 \theta) \cdot r d\theta dr \quad (3)$$

$r^2 \cos^2 \theta - r^2 \sin^2 \theta = r^2 \cos 2\theta$  であるので、積分は次のように計算できる。

$$\iint_D (x^2 - y^2) dx dy = \int_0^1 \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} r^2 \cos 2\theta \cdot r d\theta dr = \int_0^1 r^3 dr \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \cos 2\theta d\theta \quad (4)$$

$$= \left[ \frac{1}{4} r^4 \right]_{r=0}^{r=1} \left[ \frac{1}{2} \sin 2\theta \right]_{\theta=\frac{\pi}{4}}^{\theta=\frac{\pi}{2}} = \frac{1}{4} \cdot \left( -\frac{1}{2} \right) = -\frac{1}{8} \quad (5)$$

(b)

$$\iiint_E \frac{x^2 + y^2}{\sqrt{x^2 + y^2 + z^2}} dx dy dz, \quad E = \{(x, y, z) \mid x^2 + y^2 + z^2 \leq 1, z \geq 0\} \quad (6)$$

.....  
 $E \subset \mathbb{R}^3$  とする。

領域  $E$  は  $z \geq 0$  の範囲で切り取られた半球である。

次のように極座標変換を行う。

$$x = r \sin \theta \cos \varphi, \quad y = r \sin \theta \sin \varphi, \quad z = r \cos \theta \quad (7)$$

$E$  より  $r, \theta, \varphi$  の積分範囲は次のようになる。

$$0 \leq r \leq 1, \quad 0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}, \quad 0 \leq \varphi \leq 2\pi \quad (8)$$

ヤコビアンを計算する。

$$\left| \frac{\partial(x, y, z)}{\partial(r, \theta, \varphi)} \right| = \begin{vmatrix} x_r & x_\theta & x_\varphi \\ y_r & y_\theta & y_\varphi \\ z_r & z_\theta & z_\varphi \end{vmatrix} = r^2 \sin \theta \quad (9)$$

これにより  $dx dy dz = r^2 \sin \theta \, dr d\theta d\varphi$  となる。

変数変換により  $\sqrt{x^2 + y^2 + z^2} = r$ ,  $x^2 + y^2 = r^2 \sin^2 \theta$  であるので、問題の式は次のようになる。

$$\iiint_E \frac{x^2 + y^2}{\sqrt{x^2 + y^2 + z^2}} dx dy dz = \int_0^1 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \int_0^{2\pi} r \sin^2 \theta \cdot r^2 \sin \theta \, d\varphi d\theta dr \quad (10)$$

3 倍角の公式  $\sin 3\theta = 3 \sin \theta - 4 \sin^3 \theta$  を利用し計算を行う。

$$\int_0^1 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \int_0^{2\pi} r^3 \sin^3 \theta \, d\varphi d\theta dr \quad (11)$$

$$= \int_0^1 r^3 dr \int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{3 \sin \theta - \sin 3\theta}{4} \int_0^{2\pi} d\varphi \quad (12)$$

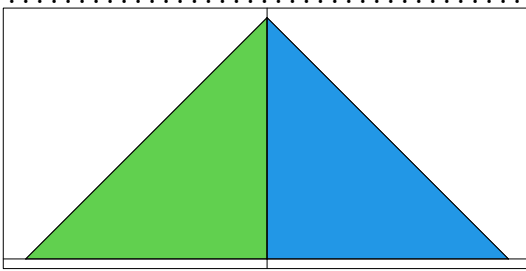
$$= \left[ \frac{1}{4} r^4 \right]_{r=0}^{r=1} \left[ -\frac{3}{4} \cos \theta + \frac{1}{12} \cos 3\theta \right]_{\theta=0}^{\theta=\frac{\pi}{2}} [\varphi]_{\varphi=0}^{\varphi=2\pi} \quad (13)$$

$$= \frac{1}{4} \cdot \left( \frac{3}{4} - \frac{1}{12} \right) \cdot 2\pi = \frac{\pi}{3} \quad (14)$$

2. 次の積分の順序を交換せよ。ただし、 $f$  は積分の順序を交換できる関数とする。

(a)

$$\int_{-1}^0 dx \int_0^{1+x} f(x, y) dy + \int_0^1 dx \int_0^{1-x} f(x, y) dy \quad (15)$$



1 つ目の積分範囲は  $-1 \leq x \leq 0$ ,  $0 \leq y \leq 1+x$  であり、2 つ目の積分範囲は  $0 \leq x \leq 1$ ,  $0 \leq y \leq 1-x$  である。図では 1 つ目の積分領域が緑、2 つ目は青である。

問いの積分は  $y$  について積分してから  $x$  について積分をする。縦向きの積分なので、 $y = 0$  から  $y = 1+x$  または  $y = 1-x$  までの積分となるため 2 つに分けている。先に横向きの積分を行えば一つにまとめることができる。

$x$  は  $y = 1+x$  から  $y = 1-x$  まで区間で積分をして、そのあと、 $y$  は 0 から 1 に積分をする。

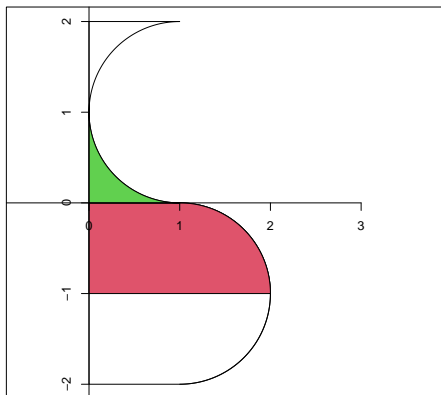
$$\int_{-1}^0 dx \int_0^{1+x} f(x, y) dy + \int_0^1 dx \int_0^{1-x} f(x, y) dy \quad (16)$$

$$= \int_0^1 \int_{y-1}^{-y+1} f(x, y) dx dy \quad (17)$$

(b)

$$\int_{-1}^0 dy \int_0^{1+\sqrt{1-(y+1)^2}} f(x,y)dx + \int_0^1 dy \int_0^{1-\sqrt{1-(y-1)^2}} f(x,y)dx \quad (18)$$

.....



1 つ目の積分範囲は  $-1 \leq y \leq 0$ ,  $0 \leq x \leq 1 + \sqrt{1 - (y+1)^2}$  である。  
 $0 \leq x \leq 1 + \sqrt{1 - (y+1)^2}$  は中心  $(1, -1)$  で半径 1 の円の右半分から  $y$  軸までの領域を指しており、 $-1 \leq y \leq 0$  で範囲を制限したものが、上の図の下側の図形 (赤) である。

2 つ目の積分範囲は  $0 \leq y \leq 1$ ,  $0 \leq x \leq 1 - \sqrt{1 - (y-1)^2}$  である。  
 $0 \leq x \leq 1 - \sqrt{1 - (y-1)^2}$  は中心  $(1, 1)$  で半径 1 の円の左半分から  $y$  軸までの領域を指しており、 $0 \leq y \leq 1$  に制限したものが、上の図の上側の図形 (緑) である。

変数  $y$  について先に積分した後、 $x$  について積分を行うので、 $0 \leq x \leq 1$  と  $1 \leq x \leq 2$  の二つに分けて考える。

$0 \leq x \leq 1$  の範囲では  $-2 \leq y \leq 1 - \sqrt{1 - (x-1)^2}$  であるので、積分は次の式で表せる。

$$\int_0^1 \int_{-2}^{1-\sqrt{1-(x-1)^2}} f(x,y)dydx \quad (19)$$

$1 \leq x \leq 2$  の範囲では  $-2 \leq y \leq -1 + \sqrt{1 - (x-1)^2}$  であるので、積分は次の式で表せる。

$$\int_1^2 \int_{-2}^{-1+\sqrt{1-(x-1)^2}} f(x,y)dydx \quad (20)$$

よって、積分順を入れ替えると次のようになる。

$$\int_{-1}^0 dy \int_0^{1+\sqrt{1-(y+1)^2}} f(x,y)dx + \int_0^1 dy \int_0^{1-\sqrt{1-(y-1)^2}} f(x,y)dx \quad (21)$$

$$= \int_0^1 dx \int_{-2}^{1-\sqrt{1-(x-1)^2}} f(x,y)dy + \int_1^2 dx \int_{-2}^{-1+\sqrt{1-(x-1)^2}} f(x,y)dy \quad (22)$$

---

---